

平成23年5月

# 財 政 状 況

— 第 13 号 —

備 前 市



# 目 次

I	平成22年度下半期の予算補正及び執行状況について	1	
1.	一般会計	1	
2.	特別会計	1	
	第1表 平成22年度一般会計予算補正及び執行状況調（歳入）	2	
	// 平成22年度一般会計予算補正及び執行状況調（歳出）	3	
	第2表 平成22年度特別会計予算補正及び執行状況調	4	
II	平成22年度備前市水道事業会計の経理状況について	5	
	第3表 損益計算書	6	
	第4表 貸借対照表	7	
	第5表 資本的収支状況	8	
III	平成23年度備前市水道事業会計の予算概要について	9	
IV	平成22年度備前市国民健康保険病院事業会計の経理状況について	10	
	第6表 損益計算書	11	
	第7表 貸借対照表	12	
	第8表 資本的収支状況	13	
V	平成23年度備前市国民健康保険病院事業会計の予算概要について	14	
VI	市債の現在高調	15	
	第1図 会計別	15	
	第2図 一般会計	15	
VII	一時借入金現在高調	15	
VIII	財産の現在高調	16	
	第9表 土地・建物	16	
	第10表 有価証券	17	
	第11表 出資による権利	17	
	第12表 基金	18	
	第13表 貸付金・預託金	18	
む	す	び	19



今回の財政事情は、平成22年度下半期の予算執行状況等についてお知らせします。

I 平成22年度下半期の予算補正及び執行状況について

1. 一般会計

平成22年度下半期の予算の執行状況は、5回にわたり補正予算が行われ1,420,378千円が増額され、予算現額 18,775,815千円に対し、歳入は、執行額 17,088,840千円で執行率 91.0%となっており、歳出は、執行額 15,278,339千円で執行率 81.4%となっております。

2. 特別会計

予算の執行状況は、特別会計全体（水道・病院を除く）の予算現額 12,272,774千円に対し、歳入は、執行額 9,594,589千円で執行率 78.2%となっており、歳出は、執行額 11,787,522千円で執行率 96.0%となっております。

第1表 平成22年度一般会計予算補正及び執行状況調

款	上半期予算額 (~2号補正)	歳 入					予算現額	執行額	執行率
		補正予算額							
		3号	4号	5号	6号	7号			
1. 市 税	5,054,565			91,331			5,145,896	5,106,245	99.2
2. 地 方 譲 与 税	155,000					2,377	157,377	157,376	100.0
3. 利 子 割 交 付 金	17,000					△ 802	16,198	16,198	100.0
4. 配 当 割 交 付 金	7,100					1,615	8,715	8,715	100.0
5. 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	3,800					△ 686	3,114	3,114	100.0
6. 地 方 消 費 税 交 付 金	355,000					39,968	394,968	394,968	100.0
7. ゴルフ場利用税交付金	11,600					243	11,843	11,843	100.0
9. 自動車取得税交付金	40,700					△ 6,556	34,144	34,144	100.0
10. 地 方 特 例 交 付 金	64,839						64,839	64,839	100.0
11. 地 方 交 付 税	6,489,831			59,591		164,156	6,713,578	6,713,578	100.0
12. 交通安全対策特別交付金	4,800						4,800	5,036	104.9
13. 分担金及び負担金	113,924	26,270		△ 1,939		△ 9,821	128,434	109,826	85.5
14. 使用料及び手数料	200,194	860		△ 5,553		△ 4,625	190,876	187,124	98.0
15. 国 庫 支 出 金	2,129,844	182,644		188,298		36,309	2,537,095	1,903,179	75.0
16. 県 支 出 金	758,081	31,234	6,961	△ 5,998		△ 8,853	781,425	549,000	70.3
17. 財 産 収 入	45,916	9		11,915		3,459	61,299	60,745	99.1
18. 寄 附 金	1,742			5,495			7,237	7,335	101.4
19. 繰 入 金	66,802			4,648		△ 255	71,195	70,876	99.6
20. 繰 越 金	203,664						203,664	203,664	100.0
21. 諸 収 入	231,835	13,416		863		2,284	248,398	236,515	95.2
22. 市 債	1,399,200	584,420		27,900		△ 20,800	1,990,720	1,244,520	62.5
計	17,355,437	838,853	6,961	376,551	0	198,013	18,775,815	17,088,840	91.0

(平成23年3月31日現在)

(単位：千円、%)

款	上半期予算額 (~2号補正)	歳 出						予算現額	執行額	執行率
		補正予算額								
		3号	4号	5号	6号	7号	流用・充用等			
1. 議 会 費	203,731	8,510		△ 3,560		△ 2,406		206,275	205,320	99.5
2. 総 務 費	1,923,132	15,184		△ 5,794	5,000	△ 23,205	1,806	1,916,123	1,881,158	98.2
3. 民 生 費	4,163,933	277,711		△ 226,454		△ 52,886	5,449	4,167,753	4,127,139	99.0
4. 衛 生 費	1,640,537	16,871	14,000	△ 19,280		△ 24,549		1,627,579	1,557,842	95.7
5. 労 働 費	69,100							69,100	68,940	99.8
6. 農 林 水 産 業 費	428,882	23,461		△ 15,547		△ 1,741		435,055	381,550	87.7
7. 商 工 費	199,251			△ 5,418		△ 2,338		191,495	189,611	99.0
8. 土 木 費	3,793,683	205,149		△ 30,904		△ 8,451		3,959,477	1,704,341	43.0
9. 消 防 費	749,731	2,071		△ 186		△ 1,524		750,092	747,661	99.7
10. 教 育 費	1,551,584	50,118		462,951		△ 17,635		2,047,018	1,531,696	74.8
11. 災 害 復 旧 費		2,000					1,412	3,412	1,412	41.4
12. 公 債 費	2,106,155	4,573				△ 15,739		2,094,989	2,094,963	100.0
13. 諸 支 出 金	380,175	300,000		108,166		200,480		988,821	786,706	79.6
14. 予 備 費	145,543	△ 66,795	△ 7,039	112,577	△ 5,000	148,007	△ 8,667	318,626	0	0.0
計	17,355,437	838,853	6,961	376,551	0	198,013	0	18,775,815	15,278,339	81.4

第2表 平成22年度特別会計予算補正及び執行状況調

(平成23年3月31日現在)

(単位：千円，%)

会計名	当初予算額	補正予算額					予算現額	執行状況			
		1号	2号	3号	4号	5号		歳入		歳出	
								執行額	執行率	執行額	執行率
国民健康保険事業	4,385,149	80,672	49,855	62,659	3,327		4,581,662	4,235,418	92.4	4,496,896	98.1
土地取得事業	133,052	15,930					148,982	148,971	100.0	146,813	98.5
三石財産区管理事業	4,975	△757					4,218	4,208	99.8	3,304	78.3
三国地区財産区管理事業	9,169	683					9,852	9,835	99.8	1,666	16.9
下水道事業	3,480,330		51,985	△43,000	△66,450	△14,600	3,408,265	1,166,786	34.2	3,222,948	94.6
農業集落排水事業	39,544	7,913	△4,415				43,042	26,244	61.0	35,261	81.9
漁業集落排水事業	27,821	1,518					29,339	13,230	45.1	22,385	76.3
浄化槽整備事業	25,001	1,946					26,947	6,288	23.3	23,268	86.3
老人保健医療事業	1,742	2,161	△1,393				2,510	2,469	98.4	2,186	87.1
後期高齢者医療事業	533,717	4,898	△69,783	△5,996	3,022		465,858	466,693	100.2	460,740	98.9
介護保険事業	3,186,768	31,650	175,476	7,822	18,817	△4,700	3,415,833	3,382,599	99.0	3,273,037	95.8
簡易水道事業	26,684	96					26,780	26,223	97.9	24,511	91.5
飲料水供給事業	8,615	121					8,736	7,238	82.9	7,334	84.0
宅地造成分譲事業	7,099	12,896					19,995	20,002	100.0	16,749	83.8
駐車場事業	26,426	1,515					27,941	25,696	92.0	12,911	46.2
郷土料理館事業	44,302	1,200	△5,220				40,282	40,296	100.0	29,642	73.6
墓園事業	9,696	1,586	1,250				12,532	12,393	98.9	7,871	62.8
計	11,950,090	164,028	197,755	21,485	△41,284	△19,300	12,272,774	9,594,589	78.2	11,787,522	96.0



## Ⅱ 平成22年度備前市水道事業会計の業務状況について

平成22年度の業務量は、給水人口が前年度比1.35%減の38,462人、給水戸数が前年度比0.17%減の15,923戸、年間総給水量が前年度比1.63%増の6,285,473<sup>m</sup>、一日平均給水量17,220<sup>m</sup>となりました。

### 【収益的収支】

水道事業収益は839,958,405円（前年度比0.58%増）、水道事業費用は826,894,848円（前年度比12.34%増）で、差引13,063,557円の純利益が生じました。

### 【資本的収支】

資本的収支は、建設改良費に418,687,500円、企業債償還金に64,568,421円、合計483,255,921円を支出し、企業債100,000,000円、他会計出資金26,763,456円、国県補助金35,850,750円、他会計負担金282,450円、工事負担金31,281,075円、合計194,177,731円を収入し、差引不足する額289,078,190円は過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

第3表 損益計算書

自 平成 22 年 4 月 1 日

至 平成 23 年 3 月 31 日

(単位：円)

費用		収益	
科目	金額	科目	金額
営業費用	683,536,291	営業収益	834,436,015
(1) 原水及び浄水費	99,166,674	(1) 給水収益	810,470,136
(2) 配水及び給水費	142,192,922	(2) 受託工事収益	1,617,267
(3) 受託工事費	458,290	(3) その他の営業収益	22,348,612
(5) 総係費	111,924,456		
(6) 減価償却費	310,237,900		
(7) 資産減耗費	19,510,385		
(8) その他営業費用	45,664		
営業外費用	39,737,965	営業外収益	5,282,390
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	39,372,834	(1) 受取利息及び配当金	3,202,339
(2) 受託工事費	0	(2) 他会計補助金	1,192,364
(3) 雑支出	365,131	(3) 受託工事収益	0
		(4) 補助金	0
		(5) 雑収益	887,687
特別損失	103,620,592	特別利益	240,000
当年度純利益	13,063,557		
費用合計	839,958,405	収益合計	839,958,405

第4表 貸借対照表

平成23年3月31日

(単位：円)

資 産		負 債 ・ 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 固定資産	7,143,466,781	4 流動負債	94,974,106
(1) 有形固定資産	7,141,184,976	(1) 未払金	93,605,873
イ 土地	256,966,878	(2) 前受金	0
ロ 建物	123,374,738	(3) その他流動負債	1,368,233
ハ 構築物	6,055,805,061	5 資本金	3,216,369,843
ニ 機械及び装置	553,204,438	(1) 自己資本金	1,972,296,285
ホ 車両運搬具	3,526,529	(2) 借入資本金	1,244,073,558
ヘ 工具・器具及び備品	4,831,949	イ 企業債	1,244,073,558
ト 建設仮勘定	143,475,383	6 剰余金	5,918,221,689
(2) 無形固定資産	2,281,805	(1) 資本剰余金	5,462,763,460
イ 水利権	2,281,805	イ 国(県)補助金	319,689,702
(3) 投資	0	ロ 他会計補助金	5,222,000
2 流動資産	2,086,098,857	ハ 工事負担金	4,992,534,805
(1) 現金・預金	1,828,723,119	ニ 他会計負担金	1,978,000
(2) 未収金	187,944,206	ホ 受贈財産評価額	143,338,953
(3) 貯蔵品	13,531,532	(2) 利益剰余金	455,458,229
(4) 前払金	55,800,000	イ 減債積立金	209,746,683
(5) その他流動資産	100,000	ロ 建設改良積立金	34,415,356
		ハ 当年度末処分利益剰余金	211,296,190
資 産 合 計	9,229,565,638	負 債 ・ 資 本 合 計	9,229,565,638

第5表 資本的収支状況

自 平成 22 年 4 月 1 日

至 平成 23 年 3 月 31 日

(単位：円)

支 出		収 入	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 資本の支出	483,255,921	1 資本の収入	194,177,731
(1) 建設改良費	418,687,500	(1) 企業債	100,000,000
(2) 企業債償還金	64,568,421	(2) 他会計出資金	26,763,456
		(3) 国県補助金	35,850,750
		(4) 他会計負担金	282,450
		(5) 工事負担金	31,281,075
支 出 合 計	483,255,921	収 入 合 計	194,177,731

### Ⅲ 平成23年度備前市水道事業会計の予算概要について

平成23年度水道事業会計予算は、2月24日開会の2月定例会市議会に上程され、原案どおり可決されました。

#### 水道事業会計

予算規模	14億9,919万8千円	(前年度当初比7.7%減)
------	--------------	---------------

#### 概要

- 1 経常経費の削減を図った予算としています。
- 2 備前市水道ビジョン、水道施設整備計画等に基づき、施設整備を計画的に進めていきます。
- 3 本市水道の基幹施設となる(仮称)坂根配水池新設に伴い、送配水管布設工事を行っていきます。
- 4 日生第二配水池関連震災対策事業に伴い緊急遮断弁設置工事等を行います。

#### 1 業務の予定量

区分	23年度当初	22年度当初	増減
給水戸数(戸)	15,920	15,980	△60
年間総給水量(m <sup>3</sup> )	6,030,562	6,133,000	△102,438
一日平均給水量(m <sup>3</sup> )	16,522	16,803	△281

#### 2 予算総括表

(単位：千円)

区分	23年度当初	22年度当初	増減
1 予算規模(3+6)	1,499,198	1,623,556	△124,358
〈収益的収支〉			
2 水道事業収益	871,131	875,805	△4,674
3 水道事業費用	796,113	872,620	△76,507
4 差引(2-3)	75,018	3,185	71,833
〈資本的収入〉			
5 資本的収入	284,715	304,693	△19,978
6 資本的支出	703,085	750,936	△47,851
7 差引(5-6)	△418,370	△446,243	27,873

#### 3 主な建設改良事業

事業名	事業費	主な内容
配水管布設替事業	2億5,987万円	不良配水管及び下水道事業による支障配水管の布設替工事
取水、送水設備改良事業	205万円	伊部2号送水ポンプ分解整備工事
配水設備建設改良事業	3億540万円	坂根配水池新設に伴う送配水管布設工事 緊急遮断弁設置工事(日生第二配水池) 日生頭島線配水管敷設工事

#### Ⅳ 平成22年度備前市国民健康保険病院事業会計の経理状況について

本年度は、備前、日生、吉永の各病院事業と介護老人保健施設外事業を合わせて、13,091,987円の純損失が生じました。

まず、病院事業の患者動向は、入院患者数が備前病院24,437人（一日平均67.0人）、日生病院27,175人（一日平均74.5人）、吉永病院17,105人（一日平均46.9人）、合計68,717人（一日平均188.3人）、外来患者数が備前病院48,613人（一日平均165.4人）、日生病院51,414人（一日平均211.6人）、吉永病院106,837人（一日平均363.4人）、合計206,864人（一日平均740.4人）となっております。次に、介護老人保健施設外事業の利用状況は、入所者が26,370人（一日平均72.2人）、通所者が4,397人（一日平均18.1人）、訪問看護件数が2,349人（一日平均9.7人）となっております。

##### 【収益的収支】

病院事業では、備前病院が総収益1,240,290,279円、事業費用及び特別損失の総費用1,314,674,701円で、差引74,384,422円の純損失が生じました。日生病院が総収益1,297,877,565円、事業費用及び特別損失の総費用1,273,696,440円で、差引24,181,125円の純利益が生じました。吉永病院が総収益1,816,230,882円、事業費用及び特別損失の総費用1,760,400,360円で、差引55,830,522円の純利益が生じました。

介護老人保健施設外事業では、総収益381,801,743円、事業費用及び特別損失の総費用400,520,955円で、差引18,719,212円の純損失が生じました。

合計すると、総収益は4,736,200,469円、総費用は4,749,292,456円で、差引13,091,987円の純損失が生じ、当年度末未処理欠損金は782,212,076円となっております。

##### 【資本的収支】

資本的収支は、建設改良費に482,459,170円、企業債償還金に269,749,390円、合計752,208,560円を支出しており、その財源は、他会計負担金144,383,000円、補助金118,370,000円、企業債255,400,000円で、資本的収入額が資本的支出額に不足する額234,055,560円は過年度分損益勘定留保資金で補てんします。

第6表 損益計算書

自 平成 22 年 4 月 1 日

至 平成 23 年 3 月 31 日

(単位：円)

費用		収益	
科目	金額	科目	金額
医業費用	4,148,922,811	医業収益	4,163,363,662
(1) 給与費	2,237,436,259	(1) 入院収益	1,881,562,144
(2) 材料費	1,122,429,543	(2) 外来収益	2,061,655,856
(3) 経費	499,903,247	(3) 他会計負担金	93,438,000
(4) 減価償却費	277,223,279	(4) その他医業収益	126,707,662
(5) 資産減耗費	5,683,325	医業外収益	572,836,807
(6) 研究研修費	6,247,158	(1) 受取利息及び配当金	2,442,471
医業外費用	584,197,568	(2) 他会計補助金	0
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	74,833,506	(3) 負担金交付金	157,975,000
(2) 患者外給食材料費	7,264,174	(4) 患者外給食収益	9,358,403
(3) 繰延勘定償却	15,537,092	(5) その他医業外収益	17,967,190
(4) 他会計繰出金	5,147,000	(6) 国県補助金	3,292,000
(5) 介護老人保健施設外費用	400,488,855	(7) 介護老人保健施設外収益	381,801,743
(6) 雑損失	80,926,941	(8) 雑収益	0
特別損失	16,172,077	特別利益	
		当年度純損失	13,091,987
費用合計	4,749,292,456	収益合計	4,749,292,456

第7表 貸借対照表

平成23年3月31日

(単位：円)

資 産		負 債 ・ 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 固定資産	5,900,235,350	4 流動負債	442,461,998
(1) 有形固定資産	5,900,161,350	(1) 一時借入金	0
イ 土地	603,932,976	(2) 未払金	441,461,998
ロ 建物	4,050,669,414	(3) その他流動負債	1,000,000
ハ 構築物	185,752,669	5 資本金	9,517,842,629
ニ 機械及び備品	753,769,224	(1) 自己資本金	5,122,436,689
ホ 車両	12,961,153	(2) 借入資本金	4,395,405,940
ヘ 建設仮勘定	293,075,914	6 剰余金	△ 302,796,385
(2) 無形固定資産	70,000	(1) 資本剰余金	471,315,691
イ その他無形固定資産	70,000	(2) 利益剰余金	△ 774,112,076
(3) 投資	4,000	イ 減債積立金	8,100,000
2 流動資産	3,623,274,632	ロ 当年度未処分利益剰余金	△ 782,212,076
(1) 現金預金	2,830,887,328		
(2) 未収金	724,041,552		
(3) 貯蔵品	68,114,337		
(4) 前払金	231,415		
(5) その他流動資産	0		
3 繰延勘定	133,998,260		
(1) 控除対象外消費税額	133,998,260		
資 産 合 計	9,657,508,242	負 債 ・ 資 本 合 計	9,657,508,242



第8表 資本的収支状況

自 平成 22 年 4 月 1 日

至 平成 23 年 3 月 31 日

(単位：円)

支 出		収 入	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 資本の支出	752,208,560	1 資本の収入	518,153,000
(1) 建設改良費	482,459,170	(1) 他会計出資金	0
(2) 企業債償還金	269,749,390	(2) 他会計負担金	144,383,000
		(3) 補助金	118,370,000
		(4) 企業債	255,400,000
		(5) 寄付金	0
支 出 合 計	752,208,560	収 入 合 計	518,153,000

## V 平成23年度備前市国民健康保険病院事業会計の予算概要について

平成23年度病院事業会計予算は、2月24日開会の2月定例会市議会に上程され、原案どおり可決されました。

### 病院事業会計

予算規模 83億1,728万7千円
-------------------

### 概要

- 1 備前市病院事業改革プランに基づき、計画的に経営改革を進めていきます。
- 2 平成22年度に引き続き、市立備前病院の建設事業を実施します。

### 1 業務の予定量

#### (1) 病院

区 分	23年度当初	22年度当初	増 減
年間入院患者延数(人)	72,834	74,095	△ 1,261
年間外来患者延数(人)	225,252	229,972	△ 4,720
1日平均入院患者数(人)	199	203	△ 4
1日平均外来患者数(人)	827.8	844.3	△ 16.5

#### (2) 介護老人保健施設

区 分	23年度当初	22年度当初	増 減
年間入所者延数(人)	27,084	27,010	74
年間通所者延数(人)	5,368	4,131	1,237
1日平均入所者数(人)	74	74	0
1日平均通所者数(人)	22	17	5

#### (3) 訪問看護ステーション

区 分	23年度当初	22年度当初	増 減
年間延訪問数(人)	2,190	2,210	△ 20
1日平均訪問数(人)	9.0	9.1	△ 0.1

### 2 予算総括表

(単位：千円)

区分	23年度当初	22年度当初	増減
1 予算規模(3+6)	8,317,287	6,418,791	1,898,496
〈収益的収支〉			
2 総収益	5,044,417	4,846,673	197,744
3 総費用	5,740,417	5,211,508	528,909
4 差引(2-3)	△ 696,000	△ 364,835	△ 331,165
〈資本的収入〉			
5 資本的収入	2,276,487	811,363	1,465,124
6 資本的支出	2,576,870	1,207,283	1,369,587
7 差引(5-6)	△ 300,383	△ 395,920	95,537

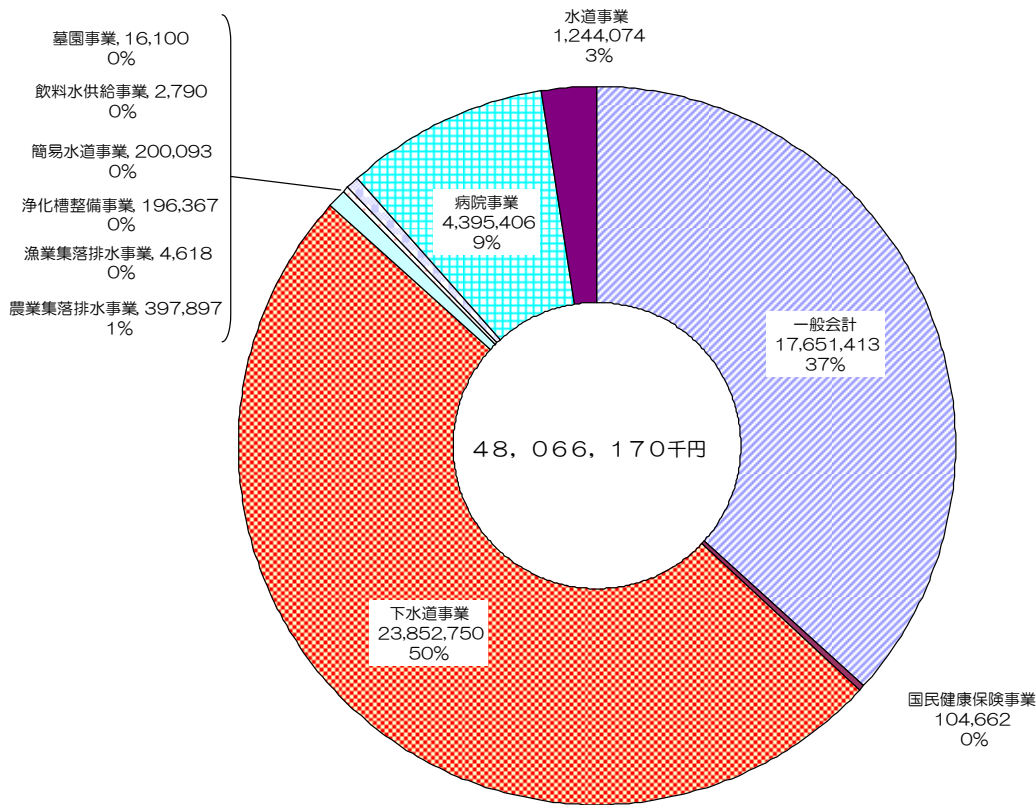
### 3 主な建設改良事業

事業名	事業費	主な内容
病院建設事業	18億9,238万円	備前病院の建設工事及び吉永病院の改良工事
器械備品等取得	4億186万円	病院事業の器械備品等の購入

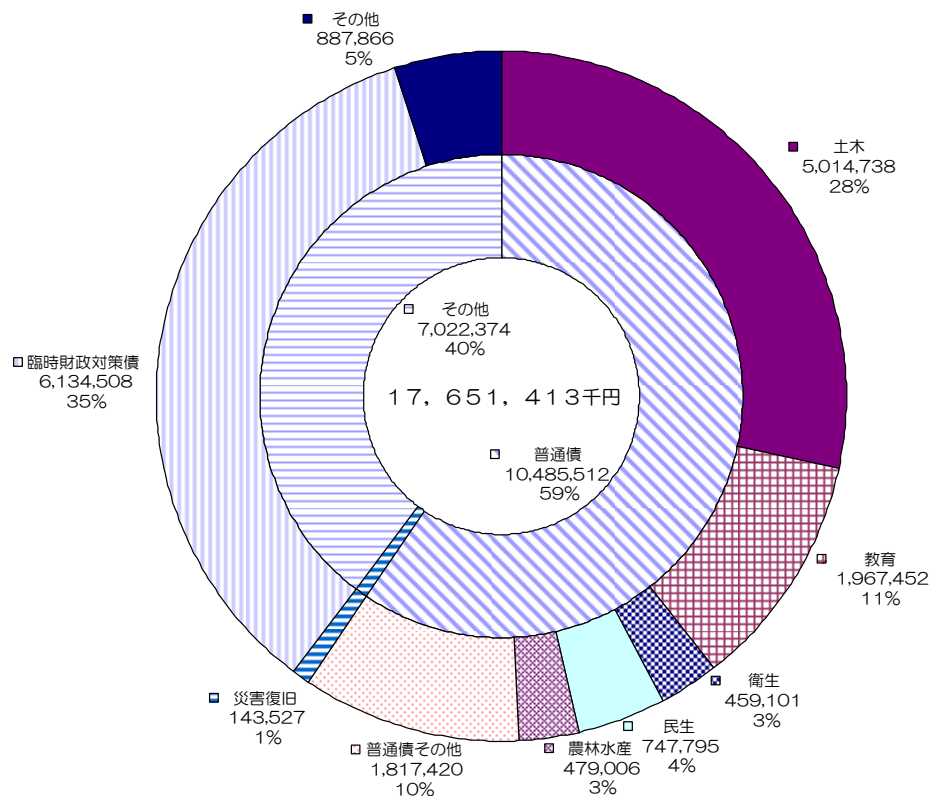
## VI 市債の現在高調（平成23年3月31日現在）

（単位：千円）

### 第1図 会計別



### 第2図 一般会計



## VII 一時借入金現在高調（平成23年3月31日現在） 2,000,000千円（特別会計を含む）

Ⅷ 財産の現在高調（平成23年3月31日現在）

第9表 土地・建物

区 分		土 地 (㎡)	建 物 (㎡)	
行政 財 産	公用財産	庁舎	18,658	9,587
		消防施設	1,780	2,281
		その他の施設	23,234	4,297
		小 計	43,672	16,165
	公共 用財産	小学校	184,862	44,865
		中学校	157,396	38,707
		公営住宅	69,509	23,669
		公園	1,458,013	5,491
		その他の施設	2,309,802	119,027
		小 計	4,179,582	231,759
	計	4,223,254	247,924	
普通 財 産	山林	21,751,659	0	
	田畑	32,777	0	
	宅地	237,687	5,312	
	その他	747,719	3,018	
	計	22,769,842	8,330	
合 計		26,993,096	256,254	

第10表 有 価 証 券 (平成23年3月31日現在)

(単位：千円)

区 分	金 額
(株)夕刊新聞社 株券	10
山陽放送(株) 株券	190
片上埠頭開発(株) 株券	10,200
日生有線テレビ(株) 株券	68,000
岡山医薬品(株) 株券	4
(株)オービス 株券	4,500
計	82,904

第11表 出資による権利 (平成23年3月31日現在)

(単位：千円)

区 分	金 額
岡山県農業信用基金協会 出資金	2,260
岡山県漁業信用基金協会 出資金	2,700
(社)おかやまの森整備公社 出資金	29,600
作州かがみの森林組合 出資金	193
備前市土地開発公社 出資金	10,000
(社)岡山県畜産協会 (家畜自衛防疫) 寄託金	220
(社)岡山県畜産協会 (生乳検査) 寄託金	146
(社)岡山県畜産協会 (畜産ヘルパー) 寄託金	84
(福)備前市社会福祉事業団 出資金	3,000
岡山県広域水道企業団 出資金 (水源開発)	48,042
岡山県信用保証協会 出捐金	44,948
(財)岡山県環境保全事業団 出捐金	5,000
(財)吉井川水源地域対策基金 出捐金	2,990
(財)岡山県郷土文化財団 出捐金	1,389
岡山県農林漁業担い手育成財団 出捐金	3,317
岡山県農業共済組合連合会 団体拠出金	606
(財)岡山県水産振興協会 出捐金	600
(財)岡山県牛窓海洋スポーツ振興会 出捐金	1,800
岡山セラミックス技術振興財団 出捐金	234,600
(財)岡山県腎臓バンク 出捐金	123
(財)備前市施設管理公社 出捐金	50,000
(財)岡山県健康づくり財団 出捐金	279
(財)砂防フロンティア整備推進機構 出捐金	200
(財)岡山県林業振興基金 出捐金	2,397
(財)岡山県暴力追放運動推進センター 出捐金	4,168
(財)岡山県動物愛護財団 出捐金	826
(福)吉永町社会福祉協議会 出資金 (地域福祉活動基金)	40,000
(福)吉永福祉会 出資金	5,000
(財)吉永町振興公社 出捐金	50,000
地方公共団体金融機構 出資金 (旧地方公営企業等金融機構)	5,000
計	549,488

第12表 基金（平成23年3月31日現在）

（単位：千円）

区 分		金 額
積立	財政調整基金	2,204,906
	減債基金	628,801
	ふるさとづくり基金	42,877
	振興基金	619,184
	大ヶ池管理基金	3,536
	中山間地域保全基金	48,565
	地域福祉基金	149,551
	国民健康保険財政調整基金	549,416
	三石財産区基金	105,379
	奨学資金奥橋基金	30,050
	ふれあい交流基金	8,344
	介護給付費等準備基金	349,434
	市立病院整備基金	10,219
	架橋準備基金	61,505
	市営駐車場整備基金	52,200
	下水道事業償還基金	1,339
	市営墓地管理基金	14,471
	まちづくり振興基金	1,512,646
	ふるさと備前サポート基金	9,715
	定住自立圏推進基金	7,962
介護従事者処遇改善臨時特例基金	0	
住民生活に光をそそぐ基金	3,000	
定額運用	土地開発基金	463,656
計		6,876,756

第13表 貸付金・預託金（平成23年3月31日現在）

（単位：千円）

区 分	金 額
高齢者住宅整備資金貸付金	579
生業資金貸付金	12,127
災害援護資金貸付金	4,120
住宅新築資金等貸付金	300,122
奨学資金貸付金	56,531
計	373,479

※（滞納繰越分含む）

## む す び

3月11日に発生した東日本大震災は、東北地方を中心に日本全土へ甚大な被害をもたらしました。その影響は、日本経済にも大きな打撃を与え、景気の先行きへの影響が危惧されております。また原子力発電所事故等の問題が長期化すると、さらに下振れとなる恐れもあります。

こうした中、多くの自治体へもその影響は波及し、本市においても、法人市民税を主とした市税の見通しは厳しいものになると考えられます。さらに交付税額への影響も懸念され、行財政運営はさらに厳しいものになると予想されます。

今後の財政運営にあたっては、このような状況のもと、行政改革などを徹底して行い、限られた財源を最大限有効に活用し、より効率的に充実した行政サービスが提供できるよう、市民の皆様との協働によるまちづくりを目指して、本市発展のために一層の努力をしてまいります。

市民皆様のご理解とご協力をお願いいたします。